

2025 年度 第 8 回理事会 議事録

2025 年 11 月 13 日（木）19 時 30 分、WEB 上にて理事会を開催した。

定刻に、副会長 伊藤伸氏が議長席につき、本会は有効に成立した旨を告げて議案の審議に入った。

理事総数	28 名
本日の出席理事数	27 名
監事総数	2 名
本日の出席監事数	0 名

■出席役員：会長）宇田英幸 副会長）伊藤伸、平田樹伸 理事）赤間公一、犬塚功一、江原友樹、大橋幸子、岡部拓大、押野修司、加藤恒平、北村ミチル、桑原陽子、小池祐士、神山真美、阪井之哉、鈴木香織、鈴木康子、高橋啓吾、館岡周平、種沢浩平、近森貴裕（20：15 退出）、内藤大佑、原裕如、藤田真弓、丸達也、吉田朋子、渡部慶和

■委任役員：理事）佐々木竜也

■欠席役員：監事）岡田洋一 西田典史

■他出席：法人管理部）嘉成望 職能開発事業部）水村翔

■他欠席：敬称略

■議 題：

I. 審議・検討事項【発案者：敬称略】

第 1 号議案 2025 年度 第 6 回 理事会議事録について【法人管理部：嘉成】（資料 1）

・報告事項については、議事録記載できる文面で記載する。

＊内容を一部修正し、満場一致で可決された。

第 2 号議案 2025 年度高次脳機能障害の方々を支援する医療と福祉のエリアミーティング（交流会）の参加費について【高次脳機能障害地域支援推進委員会：渡部】（資料 2）

案 1 会員、準会員、関連職種・無料 非会員：2,000 円

案 2 会員、準会員、関連職種：1,000 円 非会員：2,000 円

・県内で高次脳機能障害の方を支援している医療と福祉の顔の見える関係づくり、支援の流れが途切れないようにすることを目的に実施したい。研修会としてではなく交流会という形で開催したく、OT・障害福祉サービスで高次脳機能障害の方を支援している方、PT・ST を対象として、OT および関連職種は無料、非会員 OT は 2000 円の「案 1」で実施したい。

○北村理事・鈴木香織理事より

非会員の取り扱いについては、入会予定ということを含めて対応したいが、ポイント付与の課題がある。ポイント付与については、開催当日までに会員になっていない場合は、付与困難となる。OT 協会の番号が無いと県士会会員だけではポイント付与はされない。

＊案 1 で、満場一致で可決された。

第3号議案 繰越金還元(会費値下げ)について【財務：北村】(資料3)

・9・10月理事会で会員への還元方法を検討したが、法人上会費の値下げに関しては総会承認が必要である為、2027年度の会費から施行となる。法人としての常識上、「期間限定」はそぐわないため、今後でも可及的長期的にわたり維持していく前提で会費の値下げをするかを検討する必要がある。

○案1 会費を1000円の値下げ、案2 値下げ全体を見送るが提案された。

定位案に対し、以下の意見が述べられた。

- ・永続的値下げによって、やれることが少なくなっていくことは危惧される。
- ・1,000円の減額が、10年間で風化するのではないか。据え置きで、士会委員に還元していく方が良いのではないか。
- ・1,000円減額して、協会費と合計で20,000円になる方が良いのではないか。

⇒協会員＝士会員が実現しない可能性も出てきている。そのため、一元化した時に、1,000円減額という方向にしたらいのではなか。

- ・会費は、会員から徴収したものであり、会員に還元していきたい。
- ・運用費が逼迫した状況でも打破した過去がある。
- ・コロナ禍以降、士会業務等のスリム化を図った結果で保留が増額した。
- ・士会の活動は、自己犠牲の上に成り立っている状況を踏まえ、できることできないことを取捨選択する必要がある。

⇒「中長期的に事業を継続する」「身の丈に合った事業継続」

- ・1～2年目の会員は、無料とするのはどうか。

⇒入会促進に向けた議論として別件議論とする。

採決を取り、以下の結果となった。

*会費値下げに賛成：13名

*会費値下げに反対：13名

※実際の活用方法も含めて継続審議とする。

第4号議案 事務員時給の引き上げについて【財務：北村】(資料3)

① 埼玉県の最低賃金改定(2025.11.1～)に伴い、事務員安藤さんの時給の臨時昇給について
臨時昇給50円(時給1,170円)

参考；インフレ率2.9%から検討すると32.5円以上の昇給が妥当

埼玉県パート時給平均 1,366円 毛呂山町1,116-1,237円

2026年5月には定時昇給あり

② 昇給の契約の見直しについて

臨時昇給に加え毎年5月16日付け定時昇給 50円(時給1,220円)

参考：現在のパートの平均的な昇給率は4.5%、51.8円程度の昇給が妥当

試算：2024年11月～2025年10月勤務時間合計1215.25時間(101.27時間/月)

20円昇給すると、年間243,050円の増額(≒20,000円/月増額)

*検討事項①について、臨時昇給50円で満場一致で可決された。

*検討事項②について、定期昇給50円で満場一致で可決された。

第5号議案 MTDLP 研修キャンセル対応について【MTDLP 推進委員会：高橋】（資料4）

・9月に開催されたMTDLP基礎研修において、参加費入金後に当日キャンセルになった参加者が1名いた。キャンセル理由は子供の体調不良による看病が必要となったため、現行のキャンセルポリシーでは入金後の返金不可と定めており、返金をしていない。同一内容の研修会において、特例で、MTDLP推進のため、同一年度内もしくは、年度またぎでの振替受講を認めることへの審議依頼がなされた。

【審議検討意見】

- ・現職者研修会は、振替受講の管理は正直厳しい。
- ・研修会によって後追いをするのは難しいため、議論が必要である。
- ・協会では、「事情によって返金を認める」ということをしているため、協会の対応に則って対応することも検討してはどうか。
- ・キャンセルポリシーは、悪質なドタキャンを防ぐためのものであり、状況に応じた対応を検討してはどうか。

【現在までに対応した事例】

臨床実習指導者講習会：年2回の講習会エントリーという状況だったため、「ご不幸」に対して、もう一つの講習会受講対応とした。

子ども支援員会：コロナ感染症であり、対面研修会への参加はNGというやむを得ない事情ということで返金対応した。

*キャンセルポリシーの見直しについては、次回以降の検討議案とする。

*今回のMTDLP研修会に限り、受講者に対して年度内研修会振替受講を打診することで、満場一致で可決された。

第6号議案 県士会でのメール管理について【MTDLP 推進委員会：高橋】（資料5）

・無料メールが使用できなくなり、重要な連絡ができなくなってしまった。セキュリティの観点からも県士会として公式ドメインを取得できるようにすることは可能かについて審議検討がなされた。

・県士会として、公式ドメイン使用にて、アドレスを付与することは可能である。

⇒「@ot-saitama.or.jp」は使用できるが、メールソフト毎にサーバー設定が必要となる。

メリット・デメリットを理解して今後の検討事案とする。

⇒現状MTDLPには、メール付与をしたため、運用試用してもらうこととした。

*事務局預かりで、公式アカウントを展開していくかを検討していくこととする。

ドメインを持っていることが、法人としての信頼には寄与する。

管理者への負荷も含めて検討が必要。

今後デジタル会員証などでデザインデポとの打ち合わせをしていく予定。

第7号議案 作業療法士派遣事業運用規程について【大橋】

*第12条 3項 経費支払に関して、「当会が負担した場合はその実施日から30日以内に派遣者へ振り込む。ただし3か月ごとにまとめて派遣者に支払うことができる」の文面追記について、満場一致で可決された。

II. 報告・確認事項

1. 各部局活動報告

- 1) 事務局長：大橋事務局長より以下の報告があった。
 - ・法人管理部に統合させていただく。
- 2) 法人管理部：大橋部長より以下の報告があった。
 - ・11月10日：埼玉県リハビリテーション専門職協会理事会出席。
- 3) 総務部：丸理事より報告事項なし。
- 4) 財務部：北村理事より報告事項なし。
- 5) 学術部・編集委員会：押野理事より以下の報告があった。
 - ・研修会準備中である。
 - ・学会査読委員委嘱手続き実施中である。
 - ・第1回学術部研修会 2026/1/15「作業科学ってなんだろう？ー作業の視点から実践を振り返ろうー」講師：西方浩一（文京学院大学）
 - ・第2回学術部研修会 2026/2/13「行為の高次脳、その障害とアプローチ ー失行を中心にー」講師：酒井 浩（藍野大学）
 - ・第3回学術部研修会 2025/3/17「脳画像診断と予後予測」講師：大瀧亮二（東北福祉大学）
 - ・現在、認定 OT（県士会会員）と養成校教員 47 名に依頼した。回答回収中。
- 6) 学会支援委員会：小池理事より以下の報告があった。
 - 演題募集開始（～2026 年 2 月 1 日まで）
 - 第 35 回埼玉県作業療法学会
 - 開催日：2026 年 7 月 12 日（日）
 - 会場：目白大学
 - 学会長：花房謙一（目白大学）
- 7) 教育部：鈴木香織理事より以下の報告があった。
 - ・新生涯学修制度への意向に伴い、2024 年度までに協会入会された会員で、基礎研修が終わっていない会員は 2026 年度までに研修を修了いただきたい
- 8) 生涯教育委員会：神山理事より報告事項なし。
- 9) 養成教育委員会：岡部理事より以下の報告があった。
 - ・12 月 13 日・14 日 臨床実習指導者講習会を開催。

10) 職能開発事業部（資料 6）：藤田理事より報告があった。

【水村さんより】

・資料 6：令和 7 年度地域保健総合推進事業 研修会参加の報告がなされた。

【大橋理事より】

・PT・OT・ST、横並びで進めていく方向展開になっていくかも？今後の方向性を検討していく形になる。

・一般社団法人 日本脳卒中医療ケア従事者連合（SCPA-Japan）埼玉支部の作業療法士窓口としての報告事項

1、令和 5 年度厚労科研費 FA-1801

回復期以降の循環器病に対する多職種連携による患者支援体制の充実・普及に資する研究から、両立支援調査 2024 から、埼玉県データの説明会

日時 11 月 11 日(火)16 時～17 時 10 分 場所 オンライン

内容 表題の内容 両立支援調査 2024 の中間解析結果 全国 8 県が参画中。埼玉県の参加施設(54 施設)が最も多く、登録患者数も最多。脳血管疾患患者が回復期リハから退院した後の復職状況を半年間追う調査。

2、埼玉医科大学国際医療センター脳卒中・心臓病等総合支援センター事業の一環としてのカンファレンスに参加予定

日時 11 月 14 日(金) 18 時～19 時 30 分 場所 オンライン会議

内容 「あなたは大切な人と人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）していますか？～各領域の実践者と共に考えよう」

3、令和 7 年度埼玉医科大学国際医療センター脳卒中・心臓病等総合支援センター事業 介護職向け勉強会

日時 11 月 18 日(火)16 時～17 時 30 分 場所 オンライン会議

テーマ 第 2 回循環器疾患に関する基礎知識 医療職から介護職へのメッセージ

埼玉県脳卒中・心臓病その他の循環器病対策推進協議会 委員としての連絡事項(埼玉県保健医療部疾病対策課所轄)

令和 7 年度第 1 回埼玉県脳卒中・心臓病その他の循環器病対策推進協議会・脳卒中部会 参加報告

【日時】10 月 21 日(火)18 時～19 時

【場所】MS Teams によるオンライン会議

【議題】

議題 1 在宅等生活の場に復帰した脳血管疾患患者への支援について【資料 1】

(1) 脳卒中・心臓病等総合支援センターの活用について

(2) 介護職向けアンケートから

議題 2 その他

(1) 治療と仕事の両立支援について【資料 2】

4、令和 7 年度地域総合推進事業研修会 報告

日時 10 月 19 日 10 時から 16 時 30 分

11) 広報部：近森理事より以下の報告があった。

・広報誌「彩り」2025 年冬号。リハフェスタ、広報部座談会瓦版作成中。

・広報誌「彩り」2026 年春号で夏キャン特集を検討中。今後取材を検討。”

12) 地域リハ推進部：館岡理事より報告事項なし。

13) 地域包括ケア推進部：平田理事より報告事項なし。

14) 認知症地域支援推進部：吉田理事より以下の報告があった。

10月11日 若年のつどい深谷 OT1名参加

10月16日 お城 de カフェ OT2名参加

10月24日 武里オレンジカフェ OT1名参加

11月8日 若年のつどい上尾 OT2名参加

12月20日 若年のつどい越谷予定

15) 災害対策部：阪井理事より以下の報告があった。

10月30日 JRAT 関東ブロック連絡会

11月4日 災害リハマニュアル コアメンバー会議

<予定>

11月 第2回災害リハ運用協議会 (書面開催)

1月22日 「九都県市合同防災訓練・図上訓練」オブザーバー

1月 第3回災害リハ運用協議会

12月6日(土) 災害リハビリテーション研修会 basic

22名(PT17名、OT11名、ST3名、埼玉県地域包括ケア課1名/11月7日現在)

16) 制度対策部：江原理事より報告事項なし。

17) 各ブロック

東部ブロック：内藤理事より以下の報告があった。

研修企画 2026年1月25日(日)18:30~20:00 スプリントについて

場所：新久喜総合病院

西部ブロック：種沢理事より以下の報告があった。

11月21日 今夜はみんなで語ら Night 対面

国立障害者リハビリテーションセンター

南部ブロック：犬塚理事より以下の報告があった。

10月25日 目白大学学園祭にブロック員を3名派遣した。

12月16日(火) 語ら Night! 世代別相談会!!

~今臨床で困っていることを語り合おう~

北部ブロック：桑原理事より報告があった。

語ら night! が終了した。

来秋に語ら night! 実施予定している。

18) 訪問リハビリテーション振興委員会：加藤理事より以下の報告があった。

11月9日 訪問リハ実務者研修 basic コース

PT:31名、OT:20名、ST:4名(計55名)参加。

3月8日 訪問 OT 専門研修 講師：戸田竜也氏(一般社団法人 SCRAP&BUILD)

- 19) 生活行為向上マネジメント推進委員会：高橋啓吾理事より、以下の報告があった。
12月14日基礎研修を実施する。
- 20) 子ども支援委員会：佐々木理事より報告があった。
10月23日（木）埼玉県障害者地域支援協議会に参加。
10月24日（金）に戸田市主催のインクルーシブ公園遊具体験会に OT2 名を派遣。
11月1日（土）・2日（日）に「発達領域を専門とする作業療法士のための研修（セラピスト養成講座）」を開催。参加者 6 名。
- 21) 福祉機器委員会：鈴木康子理事より報告事項なし。
- 22) 高次脳機能障害地域支援推進委員会：渡部理事より以下の報告があった。
今年度第 2 回研修班会議、アンケート班会議を開催しました。オンデマンド配信の準備、今年度の高次脳機能障害の方々を支援する医療と福祉のエリアミーティング（交流会）の開催について準備を進めている。
- 23) 運転再開支援委員会：赤間理事より以下の報告があった。
11月26日事例検討会開催予定。申し込み締め切りは 19 日。申し込み人数は現在 15 名。
- 24) こころとくらしの地域支援推進委員会：原理事より以下の報告があった。
10月22日川越少年刑務所福祉支援課程作業療法プログラム参加
11月6日こくら会議実施
11月12日川越少年刑務所福祉支援課程作業療法プログラム参加
- 25) 第 35 回埼玉県作業療法学会：小池理事から報告があった。
演題募集開始（2026 年 2 月 1 日まで）
第 35 回埼玉県作業療法学会 開催日：2026 年 7 月 12 日（日）
会場：目白大学
学会長：花房謙一（目白大学）
- 26) 埼玉県リハビリ専門職協会・コミュニティネットワーク川越：宇田会長より報告事項なし。
- 27) 倫理委員会：伊藤理事より以下の報告があった。
・研修会について、OT 協会事務局と調整を継続中。
・倫理に関する相談などはとくになし

2. 会長・副会長より

1) 宇田会長より

秋を通り越して冬になってしまいました。巷ではインフルエンザが猛威を振るっています。一心不乱に仕事をしていると気付いたら熱発なんてこともありますので各人十分にご留意ください。さいたま市から遂に5歳時検診に係る相談が届きました。依頼があっても人が足りない、出せないという現状が全国共通の課題になっています。まずは一点でもやれるところから実績を積みむしかないと考えていますが、既に携わっているOTもいるようなので、その方々とも手を取り合ってなんとかOTの職域を広げ、その結果として子どもの健康、家族の安心を提供できるように考えていきましょう。

さいたま市から5歳児健診の相談がきた。子どもを専門にしているOTが少ないというのが、全国的な悩み。リハ業界では、職域拡大・拡充を検討している状況。この先10年・20年度後OTへの贈り物を！地域など広い場所でOTの職域拡充を！未来のために！川越刑務所からも好評いただいている。そのため、外の世界にチャレンジしていくことが重要。

<10月報告>

8日 川越少年刑務所
9日 理事会
16日 お城 de カフェ
25～26日 よんぱち

<11月予定>

2日 知って安心脳の健康フェスタ これでもいいのだバンド出演
6日 こくら会議
8日 川越少年刑務所矯正展
10日 リハ専協会理事会
13日 理事会
20日 文京学院大学作業療法学科講義 これでもいいのだバンド出演
お城 de カフェ
26日 川越少年刑務所

2) 平田副会長より

5年ぶりに日本作業療法学会参加し、パワーチャージしてきた。
作業療法士の活躍が求められているため、その声に応えていきたい。

3) 伊藤副会長より

特になし。

Ⅲ. その他

次回理事会：2025年 12月11日（木） オンライン会議

以上をもって議案の全部を終了したので、議長は21時30分閉会を宣した。

2025年11月13日

一般社団法人埼玉県作業療法士会 理事会